

【重点分野－3】2024年8月連合本部LINE労働相談実施報告

連合本部は、8月27日（火）～28日（水）にかけて、「連合LINE夏休み特別労働相談～職場で悩む若者をサポートします」を実施した。この取り組みは、労働相談を通じ相談者の課題解決を行うとともに、働くことやワークルールなどについての理解促進をはかることを目的としている。その集計結果を以下のとおり報告する。

- I. 日時：2024年8月27日（火）～28日（水） 10時～15時
- II. 相談総件数：156件（27日82件、28日74件） ※無応答、キャンセル等含
- III. 対応相談員：18名（連合本部スタッフ）
- IV. 相談概況

～全体の特徴～

（1）女性の相談が7割超、30代からの相談がトップ

期間中に156件の労働相談が寄せられた。性別では男性（26.0%）、女性（74.0%）と女性からの相談が7割を超し、年代別では30代（26.9%）、次いで50代（25.4%）、40代（23.9%）と続いた。

※属性アンケートに回答のある相談のみ集計

（2）正社員の相談が5割超、「医療・福祉」がトップ

雇用形態別では、正社員（52.7%）が最も多く、次いで、アルバイト（18.9%）、パートタイマー（17.6%）となった。業種別では、「医療、福祉」（32.3%）が最も多く、次いで「製造業」（24.6%）、「その他サービス業」（18.5%）と続いた。

※属性アンケートに回答のある相談のみ集計

（3）相談内容は大項目「差別等」、詳細項目「パワハラ・嫌がらせ」がトップ

相談内容の大項目別では、「差別等」（22.1%）が最も多く、次いで「賃金関係」（16.9%）、「労働契約関係」（15.4%）の順となった。

詳細項目別では、「パワハラ・嫌がらせ」（16.9%）と最も多く、次いで「雇用契約・就業規則」（12.5%）、「年次有給休暇」（7.4%）の順となった。

以 上

8月LINE相談に寄せられた労働相談

(性別・年代・雇用形態・業種／地域)

■雇用関係（解雇・退職強要・契約打切など）

- 4月に入職し、研修生として美容外科で勤務している。9月末で研修が終わり、10月から正社員として働く予定だった。しかし入職の際には通告が無かった試験が追加となり、試験範囲も知らされずに受験して、不合格となった。そのため強制的に9月末で有期満了となり、会社都合ではなく自己都合退職にさせられた。

(女性・20代・契約社員・医療、福祉／関東)

■労働契約関係（雇用契約・就業規則、配置転換など）

- エステティシヤンの仕事をしている。東海地方から関東地方への異動を打診され、2年の約束で異動してきた。それなのに戻れず、賃金も上がらず、だまされた印象を受けている。
- インターン先の会社において、業務委託契約を結び就業。辞めるにあたり、未払いの賃金100時間（500円/時）分と立替経費（20万円）を支払おうとせず、逆に上司が引継ぎにかかる時間分のコスト（上司の年収を時給に換算）を請求されている。

(女性・20代・正社員・その他サービス業／関東)

■賃金関係（賃金未払、休日手当、昇給関連など）

- 昨年働いていた飲食店の給料が未だに支払われず、店に何度も連絡しているが、「売上げが無いから支払えない」の一点張り。水商売の店でも給料未払いで訴えたりすることはできるか？

(女性・20代・アルバイト・その他サービス業／関東)

■労働時間関係（週40時間、休日・休憩など）

- 業務時間にQCサークルをやらされるため、本来の業務が終わらない。それを時間外でこなそうとしても、会社が時間外労働を認めてくれない。

(男性・30代・正社員・製造業／東北)

■労働組合関係（組合運営、労使関係など）

- 労働組合は全体の過半数がいないと意味がないと聞いたが、どうなのか？ 現在パートが増え、従業員の過半数を割ってしまっている。

(男性・40代・正社員・運輸業／東海)

■差別等（パワハラ・嫌がらせ、セクハラなど）

- 店長が変わってから、社会保険を外せるようなシフトにされたり、精神的な攻撃をされたりして困っている。内部の窓口にも相談しても取り合ってもらえない。

(女性・20代・アルバイト・飲食店、宿泊業／関東)

以上